

- 会社名称：株式会社 サンクゼール
- 設立：1982年6月1日
- 代表者：久世 良太
- 事業内容：ジャム・ワイン、その他食品の製造販売
- ワイナリー、レストラン、売店等の直営及びフランチャイズ展開
- 展開ブランド：St.Cousair、サンクゼール、久世福商店、MeKEL

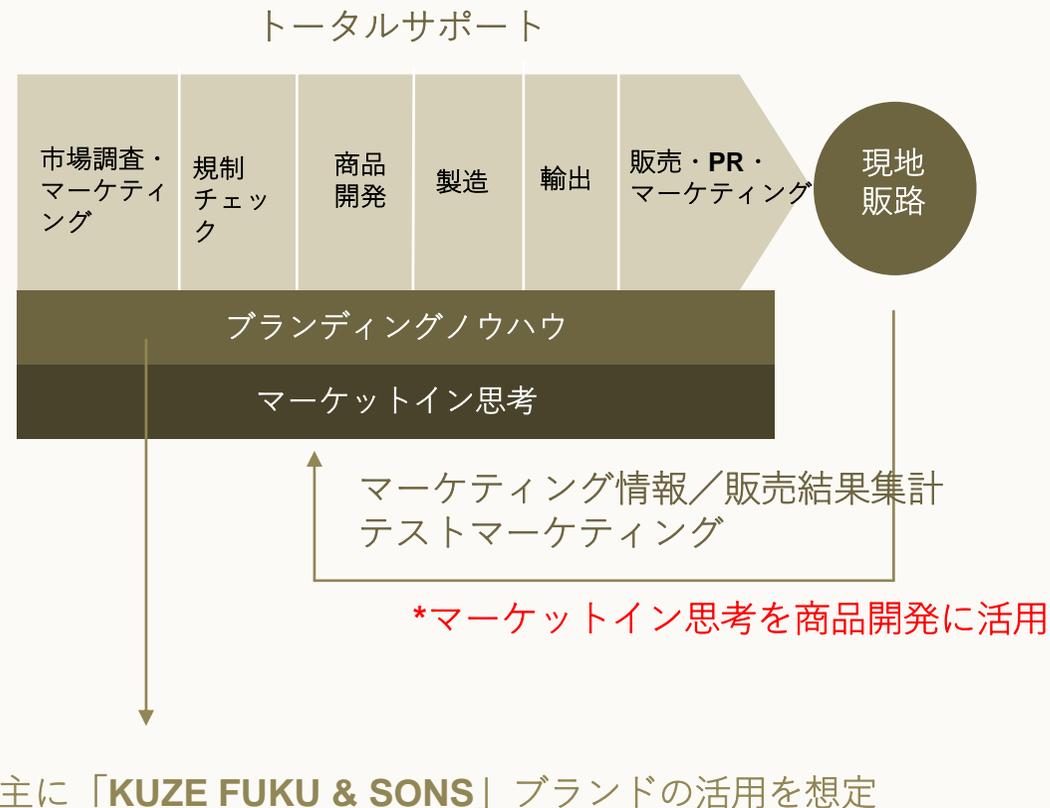
オンラインマーケットプレイス「旅する久世福e商店」の運営



- 米国内で本物志向の日本食ブランド群の市場はブルーオーシャンであるが、海外展開を果たした当社は、現地へ輸出できる本物志向の日本食は非常に少なく、その理由として、メーカー工場の輸出への対応力の不足や輸出のための書類整備力の不足・原材料が現地法令に抵触してしまう点・レシピ変更をするための現地規制情報を把握できていない点などによって直接輸出をすることが困難な点等が挙げられる。
- 当社が中小・中堅企業が注力する事が困難な、市場調査・現地規制チェック・現地規制に基づいた商品開発・輸出業務・販売／販促全てをトータルでサポートし、ブルーオーシャン市場を開拓、拡大するため、マーケットイン思考で新しいカテゴリーの商品を拡充・輸出を実現させ、一連の活動が日本の地方生産者の販路開拓展開の支援となり、地方の活性化にも寄与すると考えている。

# 実証事業内容（プロジェクト内容）

- 中小・中堅企業が注力する事が困難な、市場調査・現地規制チェック・現地規制に基づいた商品開発・輸出業務・販売／販促全てをトータルでサポートし、米国内においてブルーオーシャンである本物志向の日本食ブランド群の市場を開拓、拡大するため、マーケットイン思考で新しいカテゴリーの商品を拡充・輸出を実現する。



# 成果及び考察（プロジェクトで明らかになった課題）

【課題】  
現地小売店に  
よって監査が求  
められる

トータルサポート



## プロジェクトで明らかになった課題

- 現地基準の監査がクリアできる体制を製造メーカー様にて整える必要がある点

## 背景

- 当初想定していたビジネスモデルの流れ自体は問題なく進行できていた。
- 様々な調査を進めていくうえで、現在求められる監査を早急に受ける事ができ、問題なくクリア（合格）できる日本の中小企業は非常に少ない可能性がある事が判明してきた。
- 更に、監査を受けるまでのリードタイムも約2～3ヵ月発生し、納品までの期間もさらに長くなる事が分かってきている。
- よって、当初想定していた「原材料規制チェック」「現地法令に従ったパッケージデザインチェック」などに加え、当社から「監査対応サポート」も必要になると考えている。

## 今後の進め方

- 商品開発をスタートする段階からメーカー様に監査の対応が可能そうかどうかという点を事前にヒアリングした上で、確実に対応が難しい場合は開発停止するなどのスクリーニングを実施する。